

議会だより

祝 令和5年 一宮町成人式



撮影：Sea Side Page

第186号
2023.2

町のホームページで議会だより
や議会の録画中継、会議録等
を見ることができます。
<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>



20歳の祝典
おめでとう！

主な内容

- 12月定例議会で決まったこと …… (2)
- 議案審議賛否一覧 …… (3)
- 一般質問7名の議員より …… (6)

令和4年第4回一宮町定例議会は、12月13日に開催され、町長の行政報告をはじめ、一般質問は7名の議員が行いました。

また、議案として、条例の一部改正4件、補正予算2件、同意案2件があり、原案どおり可決しました。



玉前神社の餅つき大会

定例議会で決まったこと

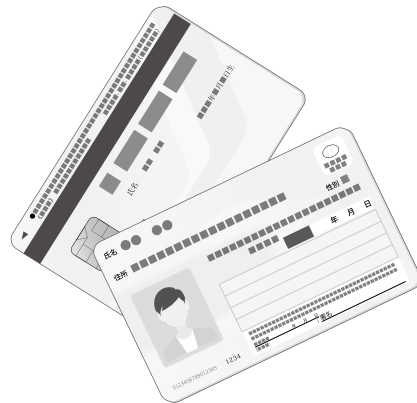
印鑑証明書を

個人番号カードで受け取り

議案第1号

令和5年3月1日から個人番号（マイナンバー）カードで印鑑証明書がコンビニエンスストア等で受け取ることができるようになります。

また、2枚にわたる住民票の交付手数料が1件300円になります。



職員の定年を引き上げ

議案第3号

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、職員の定年年齢を現行60歳としていくところ、令和5年度から2年に1歳ずつ65歳まで段階的に引き上げるとともに、再任用等の制度を整備するため、一宮町職員の定年等に関する条例の一部を改正しました。

定年引き上げ関係条例を整備

議案第4号

定年の引き上げを目的とした地方公務員法と一宮町職員の定年等に関する条例の一部改正に伴い、関連する条例の規定を整備し、あわせて字句の整理等を行いました。

職員の分限の手続き及び

効果に関する条例の一部改正

議案第2号

地方公務員法第28条第4項に規定する職員の失職に関する特例を設けるため、条例の一部を改正しました。



同意

教育委員会教育委員(保護者代表)に、次の方が同意されました。

同意案第1号

立花 亜由美 さん(新浜区)

教育委員会に関する規則や予算等の意見・施設整備計画などを審議します。

同意案第2号

固定資産評価審査委員に、次の方が同意されました。

細谷 俊夫 さん(新地区)

固定資産台帳に登録された評価額について、不服等の審査・決定を行います。

議案審議賛否一覧

議案名	議員名	結果	議員名																	
			議決結果	賛成	反対	篠瀬寛樹	宇佐美信幸	藤井幸恵	川城茂樹	大橋照雄	小林正満	鶴沢一男	小安博之	袴田忍	吉野繁徳	森佐衛	畑場博敏	小関義明	鶴沢清水	
第4回定例議会(12月13日)	議案第1号	一宮町印鑑条例及び一宮町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第2号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第3号	一宮町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第4号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第5号	令和4年度一宮町一般会計補正予算(第4次)議定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第6号	令和4年度一宮町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3次)議定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	同意案第1号	一宮町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	同意案第2号	一宮町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は、採決に加わらないため「-」で表示
空欄…無記名投票による採決のため採決結果のみ

議会中継を
ご覧ください

次回の定例議会は3月7日(火)
午前9時からの予定です。

※傍聴も可能です。



録画中継

令和4年度 補正予算の概要

12月定例会

一般会計補正予算の主なものは、自立支援事業、子ども・子育て支援対策事業のほか、電気料や燃料費等の高騰による各施設等の光熱水費などが追加され原案のとおり可決しました。

※概算単位：万円（1万円未満四捨五入）

会 計	補正額	補正後 予算総額	補正の主な内容	万円
一般会計補正予算 (第4次)	7725	52億3918	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設整備工事 防犯灯整備事業（修繕など） 自立支援事業（訓練等給付費） 身体障害者更生医療給付費等 子ども・子育て支援対策事業（施設型給付費など） 児童公園・児童遊園遊具修繕 農業振興事業（新規需要米推進事業補助金など） GSSセンター高圧受電設備改修工事等 農業集落排水事業特別会計繰出金 	<ul style="list-style-type: none"> 100 194 4233 320 462 247 282 211 336
農業集落排水事業 特別会計補正予算 (第3次)	410	9758	<ul style="list-style-type: none"> 原、東浪見、北部施設（電気料） 	410



農業者支援の各種補助金が追加

議長・議員が出席した主な行事（令和4年10月～12月）

10月		11月		12月	
7日	長生郡町村議会議長会臨時会	7日	第2回臨時議会	5日	長生郡市負担金審議特別委員会
12日	議会報編集委員会	9日	町村議会議長全国大会		議会運営委員会
	千葉県町村議会議長会決算審査	10日	九十九里地域水道企業団定例監査	6日	議会議員全体会議
13日	千葉県議会議員視察来庁	11日	新正副議長あいさつ回り		議会報編集委員会
20日	例月出納検査	12日	文化祭表彰式	13日	第4回定例議会
27～ 28日	長生郡町村議会議長会視察研修	19日	茂原市市制施行70周年記念式典	15日	農業振興地域整備促進協議会
29日	福祉大会表彰式	21日	例月出納検査		議会報編集委員会
31日	議会議員全員懇談会	22日	千葉県町村議会議長会議長・副議長自治研修会	19日	九十九里地域水道企業団例月出納検査
		24日	九十九里地域水道企業団例月出納検査	20日	例月出納検査
		25日	長生郡市広域市町村圏組合議会定例会		

ご存知ですか

議会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催される定例会と、急を要する特定の案件を審議するための臨時会があります。

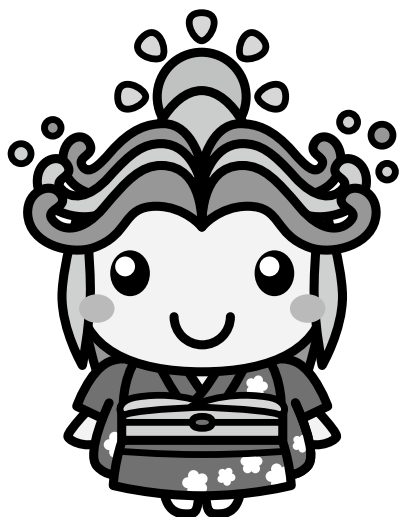
開催日は、議会だよりに次回定例会の予定をお知らせしているほか、議会開催日の3日前から、防災行政無線でもお知らせをしています。

議会開催中は、住所・氏名等を傍聴受付簿に記入するだけで、どなたでも議会を傍聴することができます。

※ 現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネットをご利用できる方は、議会のライブ中継をご視聴ください。

町のホームページから、議会・委員会をクリックしてインターネット中継の項目がありますので、そこからご覧いただけます。

また、録画中継は議会終了後、約2週間で見られるようになります。



ここが聞きたい！ 町の考えを問う

一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を正し見解を求めるものです。

「いちのみや議会だより」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町のホームページ（議会・委員会）から議会会議録をご覧ください。

※ホームページへの会議録掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。インターネット中継から録画配信（議会終了後約2週間で視聴可能）も行っていますので、ご覧ください。

7人の議員が一般質問

篠瀬寛樹 議員

- ①ゴミ集積所について
- ②多目的に利用できる公園の新設について

P7

大橋照雄 議員

- ①持続可能な町づくりについて
- ②高齢者の移動手段の拡充について
- ③子どもの安全・安心な給食について

P8

川城茂樹 議員

- ①なぜ進まない道の駅構想
- ②学校給食について

P9

畑場博敏 議員

- ①小・中学校の給食無償化を求める
- ②町の基幹産業である農業危機対策は一過性でなく継続的な取り組みを
- ③南川尻川の津波対策について

P10

小林正満 議員

- ①令和4年成人式の中止について

P11

宇佐美信幸 議員

- ①玉前神社周辺の商店街について
- ②観光政策について
- ③児童館機能について

P12

藤井幸恵 議員

- ①ファミリーサポートセンター制度について
- ②町の無料駐輪場について
- ③町長の政治姿勢について

P13





篠瀬寛樹 議員

集積所における ゴミ問題の対応は

答 他の自治体を参考に検討

問 ① 町では民泊や飲食店等の事業者が増え、ルール違反のゴミが一般ゴミの集積所に出されたり、別荘などを利用して週末を町で過ごす方がゴミを出してから帰ることが多く、収集日までにガラスや猫などに荒らされていることが多く見受けられる。

可燃ゴミの収集日を現行の火・木・土から、月・水・金に変える事により一日でも早く収集され、荒らされる可能性が低くなるのではないか。

② 町の「一宮町空き缶等の散乱及びポイ捨て防止に関する条例」では、ポイ捨て禁止や違反者への罰金が示してあるが、事業者やルール違反者に対しても罰金などの条例は制定できないのか。

都市環境課長 ① 事業系

ゴミは、一般の集積所に出すことは出来ない。違反ゴミと思われるものには自らの回収を促している。

今後、事業者にはルールを守るよう周知徹底を図

り、集積所に事業系ゴミの取り扱いなどの注意喚起の看板を設置していく。

また、可燃ゴミの収集日を変える提案は新しい発想であり、今後可能性について関係団体と協議していく。

② 現在ある条例への規制の上乗せ、罰金などを課す条例の制定に関しては、今後、他の自治体を参考に検討していく。



ルール違反で出されたゴミ集積所

子育て世代が集う公園整備を

答 拠点整備を検討していく

問 現在、町には子育て世代が遊びに行きたいと思う公園や防災機能のある公園がなく、近隣町村へ行っているのが現状だ。

今後進めて行くとされる道の駅に、地域の子育て支援として公園が必要だと思っ

企画広報課長 道の駅的な施設の建築着手時期は未定であるが、公共施設計画に照らし合わせ優先順位と財政状況を見極め、設置に向けた可能性を模索している。

地域住民が集う活動拠点や子育て支援としての公園機能、観光拠点や防災機能を持つ道の駅的な施設の設置については、今後町民のニーズや子育て支援ニーズ調査を実施し、近隣の施設などを参考にしていく。

- ※こんな質問もありました。
1. 防犯灯の設置状況は。
 2. 騒音トラブルとその対応・対策は。

持続可能な町づくりを

大橋照雄 議員



答 町税が主軸

問 町長は、一宮町を合併しない町に導き、自主財源確保を掲げて町長になった。具体的な施策に一宮リライズがあったがこれを放棄した。
今後の自主財源確保の具休策を伺う。

町長 町では大企業の誘致は望めないため、自主財源の確保は町税が主軸となる。今後も移住促進政策を継続し、催し物や商品券事業などを行うことで町内事業者の収入増を図るとともに、ふるさと納税が増加となるよう努力したい。

安全・安心な給食

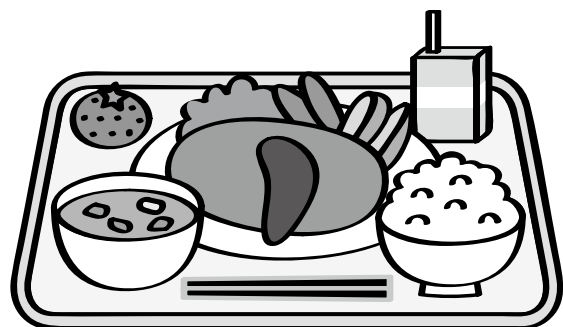
答 現状課題の解決に向け検討

問 学校給食の取り組みについて、以下の点を伺う。
① 近隣自治体ではオーガニック食材を給食に導入しているが、町でも導入の考えがあるのか。

② 給食無償化の検討は。
③ 給食の提供には、センター方式と自校方式があるが町の検討状況は。

教育課長 ① 安定した供給体制、虫などの異物混入

の可能性が高まること、高価格などの問題からオーガニック食材の導入は現状では困難である。
② 給食無償化には、年間約5千500万円の財政負担となり、他事業との優先順位なども検討し検討する。
③ 各方式のメリット・デメリット、児童生徒数の推移や施設整備費などを考慮し建設に向けて検討していきたい。



高齢者の移動手段の拡充は

答 福祉タクシー事業を検討

問 高齢者から買い物や通院が「にこにこタクシー」だけでは不十分であるとの声がある。

① デマンドタクシーの説

福祉健康課長 ① デマンドタクシーとは、ドアツードアで運行する予約制の乗り合いタクシーであり、町

私が6月議会で提案した対応策について以下の点を伺う。

の「新にこにこサービス」もこれに該当する。
町では現在、民間企業との関係や財政負担を考慮しながら、現状の「新にこにこサービス」に加え、福祉タクシー事業（タクシー券の交付）も実施できないか、検討を慎重に進めている。
② グリーンスローモビリティは、電動車を活用した移動手段で環境対策に良い

が、定員や走行速度（20km未満）の点から輸送効率に課題がある。



※こんな質問もありました。
1. フェーズフリーの防災対策を。



川城茂樹議員

なぜ進まない道の駅構想

答 前向きに可能性を模索

問 道の駅の建設は、町特産品であるトマト、メロン、梨等が地元で販売されていない現状への打開策となるのではないかと。また、町に昔ながらある飲食店、和菓子屋、伝統ある郷土の太巻きずしなども販売する複合施設の建設は、商店街と農業の活性化を促進し、緊急時の避難場所としての役割も果たすため道の駅を検討すべきだ。

そこで、以下の点を伺う。

- ① 道の駅構想が進展しない具体的な理由は、
- ② 構想から約15年経過しようとしているが、町長の考えは、
- ③ 建設が不可能ならば町民に期待を持たせる回答をせず、建設の有無の判断をすべきだ。

企画広報課長

- ① 最大の課題は事業資金の調達である。また、候補地の保安林解除、土地の借用もしくは買収、造成工事、どのような施設や設備を整備するのかなどの課題がある。
- ② 「道の駅」の設置は、公



道の駅候補地周辺（釣ヶ崎地先）

共施設計画に照らし合わせ、優先順位と町の財政状況を見極め、可能性を模索している。

- ③ 道の駅的な施設設置に向けた検討は、第2期一宮町まち・ひと・しごと総合戦略で、重点戦略の基本目標に掲げている。今後多様な手段を収集し事業実現を目指す。

学校給食の改修計画は

答 運営方法など慎重に検討

問 現在、町の学校給食は、各小中学校で個別に調理を実施しているが、この施設も経年劣化が激しく、機器の補修や什器の交換などの費用負担が課題である。

過去に幾度となく給食センターの話があり、近年でも長生村との合同給食センターの話があったが、立ち消えになったと聞く。

今後の町の児童数の予測と、それに合わせた給食施設の改修計画があるのか。また、今後の見通しと課題は。

教育課長 令和4年5月1日現在の町全体の児童生徒数985人に対し、令和10年度には800人程度になると予測される。

各施設とも老朽化が激しく修繕に係る経費も多額になる。衛生面やアレルギーへの対応などを考慮すると、今後、給食施設の建設計画を進めていかなければならないと考える。

児童生徒の減少は将来的な小中学校の統廃合なども視野にいれていく必要もあることから、今後、給食施設の規模や建設場所、運営方法など慎重に検討していく。





焔場博敏議員

学校給食は無償に

答 先進例に学び検討したい

問 憲法26条に『義務教育は無償とする』と定められており、学校給食は食育という教育の一環であると考えられる。

また、全国で完全無償化された自治体が256団体と急速に広がっている。近隣自治体でも同様の傾向であり、当町でも無償化を求める署名が短期間に157筆寄せられた。

町はどうしたら実施できるかの調査研究をし、子育てしやすい町づくりの支援策として、給食費の無償化を求める。

教育課長 学校給食費の無償化には年間約5千500万円必要となり、他事業との優先順位なども考慮し検討する。

現在、経済的に困っている保護者の方には就学援助制度により支援している。昨今の物価高騰支援策は、給食一食につき30円の支援を実施している。

また、来年度から第3子以降の給食費無償化の実施も検討を進めている。

町長 今後とも先進事例に学びながら、様々な方法を十分に検討したい。

農業支援は一過性でなく継続を

答 今後も国・県に働きかけたい

問 町では低米価対策に続いて燃油・肥料など資材高騰対策を打ち出し、農家に大変喜ばれている。

しかし、どちらも改善の見通しが立っていない。この問題は農業者の側にも自治体にも責任はない。国の農政の姿勢に大きな

問題がある。町長の認識を伺う。同時にこの問題は一過性でなく、継続的支援が求められるが見解を伺う。

産業観光課長 新型コロナウイルス感染症による米需の落ち込みに伴う米価の

南川尻川の津波対策は

答 避難行動を呼びかけたい

問 東日本大震災時、同河川も津波被害を受けた。

県は一宮川護岸のかさ上げ工事、海岸線に6mから6.5mの土塁を築くなど対策が取られてきた。

一方、南川尻川は当時、川の両側にあるガードレールを超えて津波が押し寄せ町営住宅数戸が床上浸水の被害を出した。水田も300m海水がのぼり神ノ

道交差点の舗装も壊された。その後、50cmのかさ上げがされたが十分でない。抜本策の検討経過と見通しを伺う。

都市環境課長 南川尻川の津波対策は、震災発生後に河口付近の堤防を右岸左岸とも50cmかさ上げした。同河川は準用河川であり町管理になっている。

かさ上げ後、河口付近に水門等検討したが、ヘッドランドが構築されており、水門を設置した場合に砂がたまり開閉できない状態になることが危惧されるため、対策は難しく、避難による命を守る行動を呼びかけたい。

下落、さらには農業資材や燃料、肥料、飼料の高騰など厳しさを増している。これまで町では、地方創生臨時交付金を活用した独自支援策の対応や、収入保険制度への加入促進、飼料用米への作付け転換を進めてきた。

※こんな質問もありました。
1. 排水不良地域への対策を。



小林正満議員

成人式、なぜ一宮だけ中止？

答 備えが十分ではなかった

会場名	会場面積	会場使用料	座席数 (新型コロナ対策として 間隔を確保した場合)	20歳参列者 (実績)
GSSセンター	1584㎡	0円	350名	R5年1月参加者88名
中央公民館	216㎡	0円	60名	
民間ホテル	313㎡	165,000円	90名	R4年8月参加者16名

成人式の開催が可能な町内施設

問 令和4年1月9日開催予定だった成人式は、前日の夕方に急ぎよ中止となった。県内54市町村のうち中止にしたのは一宮町だけと聞く。他の市町村同様に、当町でも十分な対策を講じていれば中止せずに実施できたのではないか。

前日の午後にはコロナ陽性者が複数発生したとの情報を得た町長は、教育長に相談せず実行委員会に中止の依頼をしたと聞く。

本来は町長、教育長、教育課長で協議し、実施の可否を決定後に実行委員会と話し合いしなければならぬのではないかと相談する時間があったにも関わらず事後承諾とするのは間違いである。これでは万一、町に重大な事故や災害があった際の危機管理上、間違った判断を一人で行ってしまった心配もある。

今後、このような失敗が二度とないように以下の点について伺う。

- ① 千葉県内各自治体での実施状況を把握しているのか。
- ② 関係者から中止の相談は受けていないと聞くが、経緯は。
- ③ 準備に問題があったのではないか。
- ④ 中止の責任を明確化し、お詫びをしたのか。

教育課長 ① 最終的な実施状況は県も調査を行っていないため、町でも把握していない。

② 感染防止対策を強化しての開催を探ったが、最終的に式の前後での接触を避ける見通しが立たなかったため、やむを得ず実行委員会の皆様にお願いをして中止とした。

③ 陽性者が発生した場合の備えが十分でなかった点は反省している。

④ 意見を真摯に受け止め、今後の対応に反映していく。

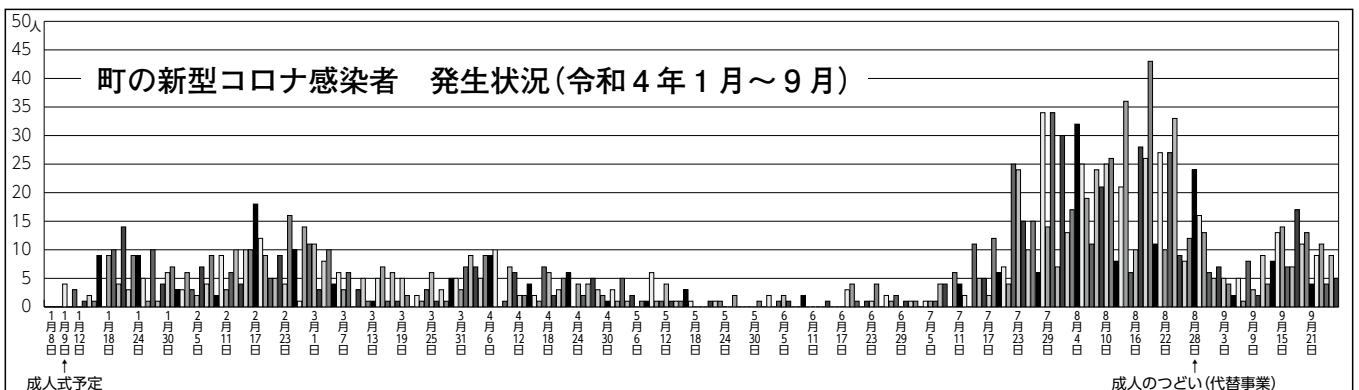
防災無線と町の広報誌で町長からお詫びをした。

町長 実行委員会の皆様にお願いを判断した。

その後、教育長に連絡をし、承諾を得たうえで最終的に中止とした。

陽性者が発生した場合の備えが十分でなかった点は反省したうえで町民にお詫びをした。

また、町民の命を第一と考え中止の判断をした。



玉前神社周辺の 商店街活性化を

答 商工会と連携し 効果的な活用を模索

宇佐美信幸 議員



観光ソフトインフラ整備を

答 引き続き普及促進に取り組んでいく

問 オリンピック開催地というレガシーを活かして観光政策を進めるうえで、町内の公共無線LANの整備や町内店舗でのキャッシュレス決済の普及、多言語化など、観光ソフトインフラ整備は非常に重要であるが、町としての見解を伺う。

産業観光課長 観光ソフトインフラ整備は必要なものと認識している。公共無線LANは、これまでに駅前観光案内所や一宮海岸広場に整備してお

り、今年度はステラ釣ヶ崎にも整備した。今後も、公共施設への整備を積極的に推進する。

キャッシュレス決済は、商工会による事業者向けセミナーの開催や決済事業者による訪問相談を実施し導入が進んでいる。

しかし、コスト面やスタッフの教育面での課題もあるため、メリットとともに課題も踏まえ、今後も普及推進に取り組んでいく。

問 玉前神社周辺の商店街はかつての活気を失い、長い年月が経ってしまっている。このまま何もしない状態では、将来のさらなる衰退が危惧される。

そこで、町として現状をどのように捉えているのか伺う。

産業観光課長 これまで商

店街の活性化などの取り組みに対して、国や県の補助事業を活用し支援を行ってきた。

しかし、店舗の老朽化や所有者の高齢化など多くの課題があり、空き店舗の活用が図られていない。今後も商工会と連携を図り、効果的な活用につなげていきたい。

児童館機能の導入を

答 既存施設の活用を検討

問 乳幼児から児童まで利用できる児童館の機能が必要と考える。

子どもが天候に関係なく遊ぶことができ、子育ての相談や情報交換・収集、世代間交流などができる場所、またそこに子育て関連の事務手続き窓口を併せ持つことが理想であるが、財政的な課題があるため、まずは空いている施設を利用し、児童館の機能をスマートフォンスタートでいいので導入することを期待するが見解を伺う。

子育て支援課長 児童館単独での建設は財政面での課題等もあり難しい状況である。

今後、公共施設の建て替えなどの際には、児童館機能の併設の可能性について協議する。

当面、就学前までの親子に利用が限られるが、保健センター内のあそびの広場を活用し、保育士等による遊びの提供や保育相談などの実施を検討する。

また、町内の保育施設で実施している既存の子育て支援サービスの一層の周知を図る。





藤井幸恵 議員

ファミサポ制度、導入は？

答 ニーズ調査を踏まえ検討

問 地域で子育てを支える仕組みである「ファミサポ制度」は、現在当町では実施されていないが、今後、導入する考えはないのか。

子育て支援課長 来年度、次期「一宮町子ども・子育て支援事業計画」のニーズ調査を行い、事業導入の必要性を見極めていく。
すでに実施している茂原市の運営状況等、情報収集を行う。

※ファミリサポ制度とは

子育ての援助を受けた人と援助できる人が会員となり、地域で相互援助を行う仕組み。
習い事の送迎や保育所の時間外の預かり等、既存の支援では補えない部分をカバーする。

町長の政治姿勢を問う

答 相互理解に尽力・信頼関係を築く

問 自分が町長だから出来た、馬淵昌也でなければ出来なかったという成果は何か。

町長 住民の皆様、役場職員、各関係機関と話を交わす機会を多く持ち、相互理

解を深め、緊密で友好的な信頼関係を結べた。これは、より良いまちづくりを進めるうえで、最も重要なことだと考える。それにより行政のなすべきこと、なすうることの区分や境界がより明瞭に認識できた。それら

を今後の政策やまちづくり
に活かしていきたい。



無料駐輪場、適切な整備を

答 利用者のマナー向上を訴える

問 上総一ノ宮駅東側の駐輪場では、乱雑に置かれた放置自転車が多く見受けられる。

夜間時の照明設置や地面の舗装など整備を求める声があるが、町の見解を伺う。

総務課長 資材置き場との併用で、トラックの進入路や資材等の置き場の確保も必要なため、駐輪場としてのしつかりとした整備は難

しい。
限られたスペースを有効

に使用できるよう、放置自転車撤去の強化や、利用者の方へも駐輪場所を守ることや自転車を放置しないなど、更なるマナー向上の協力を仰ぎたい。



一ノ宮駅下駐輪場



総務大臣表彰

町村議会議員として35年以上の永きにわたり地方自治の振興発展に寄与され、住民福祉の向上に尽くされた功績により、総務大臣から森佐衛議員に感謝状が贈られました。

(令和4年10月24日付け)

森 佐衛 議員



編集後記 宇佐美信幸 記

今まで中止されていた行事が再開され、コロナ禍前の日常が少しずつ戻ってきました。一方で、リモートワークの普及など新たな生活様式も定着しつつあります。

今後は、残すべき文化・伝統を維持しつつ、新たな変化を取り入れた社会になっていくことでしよう。

我々議会も良き伝統は残しつつ、より良い議会に向かって変化をすることが大切です。二元代表制の片輪として、行政への監視はもとより積極的な政策提案を通じた活気のある議会を目指していきたいと思えます。

第4回定例議会では、7名の議員が一般質問を行い、その中で学校給食の無償化についての質問が複数名からありました。次世代を担う子ども達のために積極的な検討を期待します。

また、ご高齢の方の移動手段に関する質問もありました。限られた町の財政資金をバランスよく効果的に活用してもらいたいものです。



発行：一宮町議会
 編集：議会報編集委員会
 発行日：2023年2月1日
 〒299-4396 千葉県長生郡
 一宮町一宮2457
 電話 0475(42)1421(直)